

東日本大震災救済応援特別チャリティー企画

文化人・芸能人の多才な美術展 2011
Entertainment Art Exhibition

～ 広げよう文化の輪・芸術は世界を救う！～

2011年6月14日(火)～7月31日(日)

大塚国際美術館(館長:大塚明彦、所在地:徳島県鳴門市)は、特定非営利活動法人 日本国際文化遺産協会と「文化人・芸能人の多才な美術展」実行委員会(企画:ヲリス株式会社)の主催のもと、芸能人、スポーツ選手、写真家、書家、国会議員、漫画家などの美術作品を紹介する第13回『文化人・芸能人の多才な美術展』を開催いたします。同展実行委員会 特別顧問であり、当館の絵画学術委員長でもある青柳正規氏(国立美術館 理事長)からの推薦を受け、開催が実現いたしました。

白いキャンパスに各々の個性や感性を活かして自由に表現する。芸術とは特別の人たちのものではなく、それが絵であろうとオブジェであろうと、世俗を忘れさせ、疲れた心を癒し、豊かにしてくれます。創作する意欲の輪を広く一般の方々にも広げていきたいとの願いから、芸能人や文化人の方々に協力を呼びかけ、1999年から「芸能人の多才な美術展(旧タイトル)」として美術展が行われてきました。

今年、内閣府が認定する特定非営利活動法人日本国際文化遺産協会(2011年3月設立)と「文化人・芸能人の多才な美術展」実行委員会の共同主催となり、東日本大震災で被害を受けた方々の一刻も早い復興を願って「東日本大震災救済応援特別チャリティー企画」を趣旨とし、文化・芸術活動を通じた被災地への救済支援を方針として掲げられています。

そして、今年で13回目を迎える『文化人・芸能人の多才な美術展』は、「広げよう文化の輪・芸術は世界を救う！」をテーマとして開催されます。歴代の総理(前内閣総理大臣鳩山由紀夫首相、麻生元内閣総理大臣、福田元内閣総理大臣)や北野武氏、ラトナ・サリ・デヴィ・スカルノ氏をはじめ、初出品作家として警視総監の池田克彦氏、戦場カメラマンの宮嶋茂樹氏、高橋邦典氏、渡部陽一氏、スポーツ界からはボクシングの元WBA世界スーパーフライ級王者の鬼塚勝也氏、新日本プロレスを代表する中邑真輔氏、プロ野球界で輝かしい功績を残した長嶋茂雄氏、洋画家の絹谷幸二氏、書家の紫舟氏、地元衆議院議員の後藤田正純氏、落語家の三遊亭圓歌氏、ものまね芸人の亀ひろし氏の計12名が新たに加わり、総勢にして83名もの作家が出品。155点もの新しい作品が5月30日(月)から6月3日(金)までの計5日間、第1会場となった憲政記念館(東京都千代田区永田町)で一室に展示されました。本展は、13年間の集大成ともいえる数多くの作家の協力のもと、既成概念に捉われることなく自由な発想で制作されたオリジナリティあふれる作品の数々を紹介し、より身近に芸術を楽しむためのエンターテインメント要素を意識した美術展として、美術館・博物館、国公立文化施設

設などを会場とし、1年をかけて全国を巡回しております。

特に今回は、戦場カメラマンとして注目を集めている宮嶋茂樹氏、高橋邦典氏、渡部陽一氏の3名の参加が実現し、数々の海外受賞作品のほか、今回の東北地方の大震災で撮影された被災地の実写を撮りおろし、それぞれのカメラマンの感性で捉えた作品が初公開されます。

また、スポーツ界から、鬼塚勝也氏がプロボクシングの熱く孤独な戦いと、その輝かしい人生を描いた絵画(80号のキャンバスに表現した渾身の大作)を発表するほか、中邑真輔氏が母校の小学校の生徒ら総勢にして80名と一緒に制作した巨大アート「みんなのパンチ(幅約6メートル、高さ約2メートル)」、長嶋茂雄氏と日本を代表する洋画家の絹谷幸二氏が共同で制作した絵画「富嶽朝陽」などは必見です。更には、同美術展の趣旨にご賛同いただき、現職の警視總監として知られる池田克彦氏が「神出鬼没」といった書画の掛け軸を出品しています。

このほかにも、政界から、書を中心として、鳩山由紀夫前内閣総理大臣の「雨天有友(雨の降っている時も自分には絶えず大切にしてくれる友が有る)」、麻生太郎・元内閣総理大臣の「日本の底力(今回の震災復興に向けて力強い挑戦の気持ち)」、福田康夫・元内閣総理大臣の「無信不立(孔子に政治とは何かを問うた時、孔子は食と兵と信の三つだと答えたとされる、今の政治の在り方を表した言葉)」、谷垣禎一・自由民主党総裁の「誠者天之道也 - 「中庸」(孟子) / (誠は天の道なり これを誠にするは人の道なりの意)」、後藤田正純・衆議院議員の『説苑(ぜいえん) / (後藤田・衆議院議員の座右の銘である「逆命利君」といった漢の劉向が編纂した説苑の一節を書にしたもの)』などの力作が多数発表されます。

第2会場となる大塚国際美術館は、古代から現代に至るまでの西洋美術の変遷を約2,000年以上にわたって継承するという世界でも類をみない陶板名画美術館です。この壮大な西洋アートの空間において、文化人・芸能人が被災地へ届けと描いた力作は、観る人それぞれに新たな発見と勇気を与えるものとなるでしょう。

会 期

2011年6月14日(火)～7月31日(日)

6/20(月)、6/27(月)は休館・7月は無休/常設展入館料でご覧になれます。

展示構成

エントランスロビーやB3Fセンターホールの空間を生かし、文化人・芸能人の力作155点を展示。

出展作家の詳細等については、別紙をご参照ください。

東日本大震災救済支援特別チャリティーグッズ販売

B3F ミュージアムショップ特設コーナーにおいて、「文化人・芸能人の多才な美術展 2011 図録」、ポストカードやクリアファイル、写真集などのチャリティーグッズを販売いたします。

(同展実行委員会より、チャリティーBOXとチャリティーグッズ収益金の全額を震災復興に寄付いたします。)

ご参考

第13回『文化人・芸能人の多才な美術展』に関する概要

- タイトル：東日本大震災救済応援特別チャリティー企画
2011年度「文化人・芸能人の多才な美術展」
～ 広げよう文化の輪・芸術は世界を救う！～
- 主催：特定非営利活動法人「日本国際文化遺産協会」
「文化人・芸能人の多才な美術展」実行委員会
- 後援：文化庁
公益財団法人 文化財保護・芸術研究助成財団
全国文化財保存技術連合会
財団法人 日本宇宙少年団
(YAC: Young Astronauts Club - Japan)など
- 協力：財団法人 仏教伝道協会、(株)M.I.プランニング、
(有)長谷商事
- 会場：各地の美術館、博物館、国公立文化施設、百貨店美術館 等
- 事務局：〒107-0051 東京都港区元赤坂 1-3-26 元赤坂 MI ビル 5F
- 企画：ラリス株式会社
代表取締役社長・アートプロデューサー 松岡久美子
TEL. 03-5771-6555 FAX. 03-5771-8833
- URL: www.laris.co.jp

第13回『文化人・芸能人の多才な美術展』実行委員会

- 特別顧問：青柳 正規（国立西洋美術館長、元東京大学副学長）
- 実行委員長：亀井 伸雄（元文化庁鑑査官、国立文化財機構東京文化財研究所長）
- 委員：青木 繁夫（サイバー大学世界遺産学部教授）
（五十音順）井上 洋一（東京国立博物館事業部教育普及課長）
高田 良信（法隆寺元管長）
坪井 清足（(財)元興寺文化財研究所、考古学者）
泊 懋（東映アニメーション株式会社取締役相談役）
沼田 智秀（財団法人仏教伝道協会会長）
野口 昇（(社)日本ユネスコ協会連盟理事長）
平井 昭司（東京都市大学教授）
平尾 良光（別府大学文学部教授（文化財学課））
さいとうたかを（劇作家）
松本 零士（SF漫画作家、大学教授）
矢口 高雄（漫画家・随筆家）

監 事：玉井 賢二（（財）文化財保護・芸術研究助成財団顧問）
賛 助：（衆議院芸術議員連盟会員、国会議員有志の参加メンバー）
（五十音順）逢沢 一郎（衆議院議員）
中川 雅治（参議院議員）
秋葉 賢也（衆議院議員）
鳩山由紀夫（前内閣総理大臣）
麻生 太郎（元内閣総理大臣）
平沢 勝栄（衆議院議員）
金子善次郎（前衆議院議員）
深谷 隆司（元通商産業大臣）
小泉 俊明（衆・国土交通大臣政務官）
福田 康夫（元内閣総理大臣）
後藤田正純（衆議院議員）
松原 仁（衆議院議員）
鈴木 寛（参・文部科学副大臣）
元宿 仁（自由民主党本部事務総長）
谷垣 禎一（自由民主党総裁）
山本 明彦（前衆議院議員）
事務局 長：松岡久美子（ラリス株式会社 代表取締役社長、アートプロデューサー）

『文化人・芸能人の多才な美術展』の実績

「芸能人の多才な美術展(旧タイトル)」は、1999年から開始し、昨年までの12年間で、延べ200万人以上の観客を動員している美術展です。第1回目は、福祉を目的としたチャリティー企画として同美術展を開催。その後、文化財保護支援のチャリティー企画として、「広げよう文化の輪・芸術は世界を救う！」をテーマに、美術展としては異例の憲政記念館を会場にするなど、芸能人や政治家などの才能ある作家の協力をいただきながら、2006年から『文化人・芸能人の多才な美術展』と美術展のタイトルも改め、今年で13年目を迎えることになりました。

陶板名画について

大塚国際美術館で展示している原寸大の陶板名画とは、大塚グループの1社である大塚オーミ陶業(株)が開発した陶製の板(セラミックボード)に原画の写真を忠実に転写し、細部に至るまで幾度もレタッチを重ね、限りなくオリジナル作品に近づけることに成功した原寸大美術陶板のことです。最終仕上がりを考慮し、釉薬の決定、色分解、製版、転写などの各工程を経て、1300度の高温で焼成します。そのため、退色劣化することなく約2000年以上にわたってそのままの色と姿で残り、美術書や教科書と違い原画が持つ本来の美術的価値を真に味わうことができます。

大塚国際美術館とは

渦潮を臨み緑豊かな鳴門公園に位置する「大塚国際美術館」。古代壁画から世界 25 ヶ国 190 余の美術館が所蔵する現代絵画まで、1,000 点を超える世界の名画を特殊技術によって、原寸大の陶板で忠実に複製しています。約 4 km に及ぶ鑑賞ルートには、古代遺跡や礼拝堂を現地の空間そのままに再現した立体展示のほか、レオナルド・ダ・ヴィンチ「最後の晚餐」、ゴッホ「ヒマワリ」、ピカソ「ゲルニカ」など、美術書などで一度は見たことがあるような名画を美術史の流れに沿って展示しています。なかでも、ミケランジェロが描いた天井画と正面祭壇壁画「最後の審判」とともに立体再現した「システイーナ・ホール」の迫力は必見です。

大塚国際美術館

住所：徳島県鳴門市鳴門町 鳴門公園内

TEL：088-687-3737

FAX：088-687-1117

<http://www.o-museum.or.jp/>

開館時間：9 時 30 分から 17 時（入館は 16 時まで）

休館日：月曜日（祝日の場合は翌日）

正月明けに連続休館あり / 7・8 月無休

入館料：小・中・高生 520 円

大 学 生 2,100 円

一 般 3,150 円

* 20 名以上の団体は 10% 割引

アクセス

- ・鳴門北 IC から車で約 3 分
専用駐車場より無料シャトルバス運行
- ・高速バスにて（高速鳴門まで）
JR 大阪駅より約 2 時間 10 分 / JR 新神戸より約 1 時間 35 分
- ・路線バス「鳴門公園行」にて「大塚国際美術館前」下車
JR 徳島駅より約 55 分、JR 鳴門駅より約 15 分、
「小鳴門橋」バス停より約 15 分、
「徳島阿波おどり空港」バス停より約 30 分



環境展示：「システイーナ・ホール」



作品画像は全て当館の展示作品を撮影したものです

《本件に関するお問い合わせ先》

大塚国際美術館 企画・広報部 坂本明子

TEL：088-687-3737 FAX：088-687-1117

e-mail：museum@otsukakj.co.jp